Panasonic 住宅用照明器具（ホームきんきゅう灯）　取扱説明書

保管用

品番　LBG76430K~

（一般屋内用）　・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店、電器店に依頼してください。

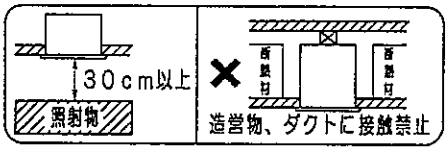
施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

ご注意　この器具は、建築基準法に適合したものではありません。
この器具は、停電（非常）時のみ約３０分間点灯します。

安全に関するご注意

⚠警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。
  施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- ブローイング工法及び特殊な断熱施工された天井には使用しない。
  火災の原因となります。
- 器具を改造したり、構成部品の交換をしない。　火災・感電・落下の原因となります。
- 天井埋込専用。壁取付や天井直付はしない。　火災・感電・落下の原因となります。
- 電源の途中にはスイッチを設けない。　停電（非常）時点灯しない原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±６%）、周波数以外の電源で使用しない。
  火災・感電の原因となります。
- 通電前に電球を取付ない。　やけど・感電の原因となります。
- 蓄電池を分解したり火や水に投入しない。　火災・破裂・やけど・感電の原因となります。

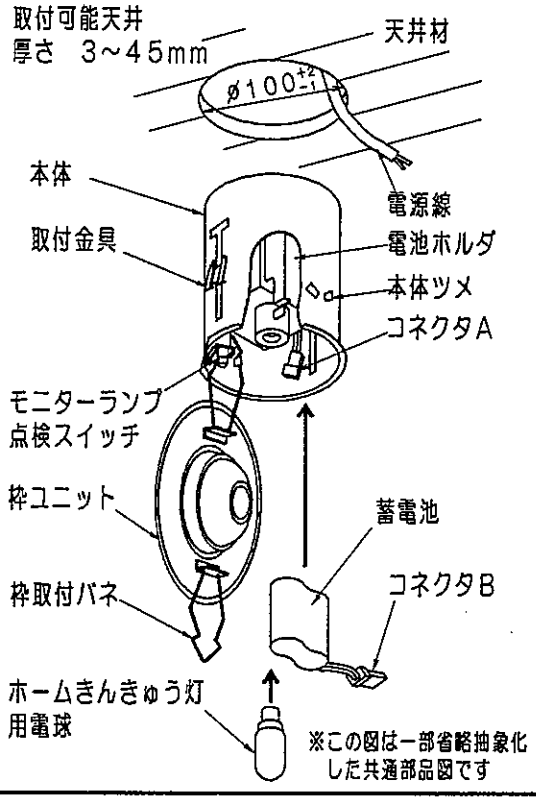


・禁止工法で施工されますと、過熱・損傷の原因になります。

⚠注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。　火災・落下・感電の原因となります。
- 周囲温度は、5～35°C以外では使用しないでください。　蓄電池の劣化や火災及び非常時に点灯しない原因となります。
- 電源を通電せずに、蓄電池を接続したまま放電しないでください。　蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取付る。　サビや変色の原因となります。

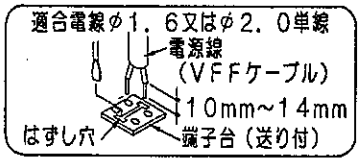
各部のなまえと取付け方



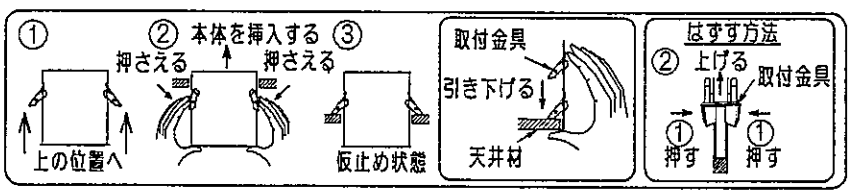
※この図は一部省略抽象化した共通部品図です

⚠注意　取付けの際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

1. 取付け前の確認
   ・器具質量（0．9ｋｇ）に十分耐えるよう、取付け部の強度を確保する。
   注）不備がありますと器具落下の原因となります。
2. 天井にφ１００+2 -1の埋込穴をあける。
3. 本体から蓄電池を取り出す。
   注）不備がありますと器具落下の原因となります。
4. 電源線を端子台に接続する。
   ・必ず電源を切ってから電源線を接続する。
   ・端子台の送り容量は４Ａです。
   注）接続が不完全の場合、
   容量がオーバーした場合
   火災の原因となります。

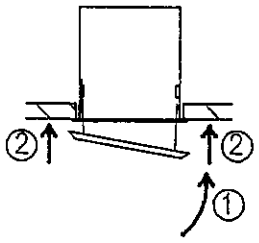


5. 本体を取り付ける。
   注）不備がありますと器具落下の原因となります。



各部のなまえと取付け方（続き）

枠の取付け方

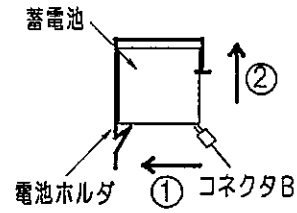


① バネを本体ツメに合わせる
② 両側からまっすぐに押し上げる

6. 蓄電池を取付ける
・蓄電池の接続前に電源を通電する。
・コネクタAにコネクタBを接続する。
注）接続が不完全の場合、停電（非常）時点灯しません。
・蓄電池を電池ホルダに取付ける。
（取付、取外し方は右図参照）
注）取付が不完全な場合、落下の原因となります。

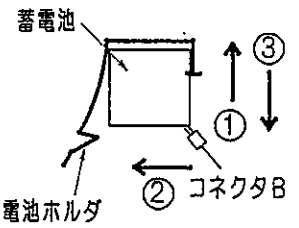
図中の方向に蓄電池を取付けてください。
ソケットにコネクタが接触しないように線処理してください。

取付け方



① 電池ホルダを矢印方向に押す
② 蓄電池が完全に収まるまで押し上げる

取外し方



① 指で蓄電池を支える
② 電池ホルダを矢印方向に押す
③ 蓄電池を矢印方向に引き下げる

7. 枠ユニットを取付ける
・本体ツメ部に枠取付バネを合わせ、枠をまっすぐ静かに最後まで押し上げる。

8. ホームきんきゅう灯用電球を取り付ける
・電源通電確認後、電球を取付ける。
注）電源通電前に電球を取付けると蓄電池が放電し停電（非常）時点灯しません。

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具を改造しない。　火災・感電の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店に相談する。　火災・感電の原因となります。
- ランプは器具表示のものを使用する。　間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災や不点の原因となります。

⚠注意

- アルカリ系洗剤は使用しないでください。　強度低下による破損の原因となります。
- 電池を加熱したり、火や水の中に入れたりしないでください。　破裂する危険があります。
- 電池は絶対に分解しないでください。　やけど、感電の原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 電池のショートは絶対にさけてください。　火災・破裂・やけど・感電の原因となります。
- 長時間器具を使用しないときは、消灯するまで放電させた後に蓄電池を外してください。　蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10※年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。　※使用条件は周囲温度30℃です。
  - 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
  - 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
  - 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

定期点検について

- 6ケ月に一度は点検（点灯確認）を行ってください。
- 蓄電池の寿命は一般的に4～6年です。48時間以上充電して30分間以上停電（非常）時点灯しない場合は、蓄電池を交換してください。
- 電池の性能を確保するため、4年に一度、電池の定期交換をお薦めします。
- 電池交換はお近くの電器店、電気工事店まで依頼してください。
- ランプ、蓄電池などの交換部品は指定のもの以外は使用しないでください。

取付後の確認とお願い

- ●モニターランプが点灯していることを確認してください。
- ●点検スイッチを押して点灯を確認してください。
- ●電池が放電している場合４８時間以上通電してから確認してください。
- ●通電しないまま電池コネクタをつないで放置しないでください。 停電（非常）時に点灯しません。また、蓄電池の寿命が短くなります。

ランプ交換・お手入れ

⚠注意	必ず電源を切らずに行ってください。 やけどの原因となります。

●ランプの交換について

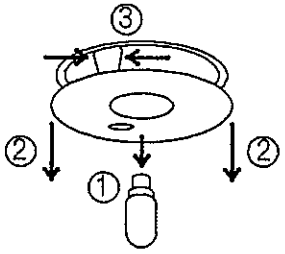
・ランプは器具表示のパナソニック製ランプをお求めください。
取付は確実に行ってください。
取付が不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

付属ランプ
ホームきんきゅう灯用電球 ＬＥ２．４Ｖ７Ｗ

●お手入れについて

・枠の外し方

1．電球を外す
2．枠を静かに引き下げる
3．枠取付バネを押し縮め、さらに引き下げる

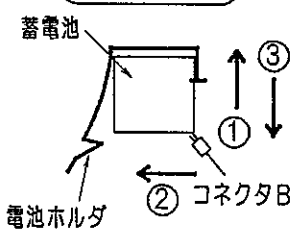


●電池交換について

枠を外してから

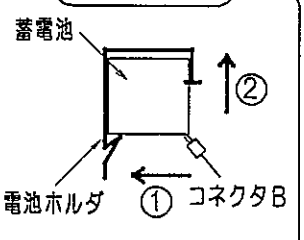
交換電池
ＬＫ６０１０３ （２．４Ｖ・２５００ｍＡｈ）

取外し方



① 指で蓄電池を支える
② 電池ホルダを矢印方向に押す
③ 蓄電池を矢印方向に引き下げる

取付け方



① 電池ホルダを矢印方向に押す
② 蓄電池が完全に収まるまで押し上げる

保証とアフターサービス （よくお読みください）

保証書について

保証期間はお買い上げの日より１年間です。
但し安定器については３年間です。
（ランプ等の消耗品は除きます。）
保証書が必要な場合は、お買い上げの販売店または当社営業所へお申し出ください。

保証書について

当社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低６年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は
お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店まで、品名、品番、お買い上げ日、故障の状況（できるだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●アフターサービスについてのご不明な点は
修理に対するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工修理ご相談窓口（別紙一覧表ご参照）にお問い合わせください。

Ni-Cd この器具は、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ニカド電池の交換、およびご使用済製品の廃棄に際してはニカド電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

パナソニック電工株式会社 インテリア照明事業部 〒571－8686 大阪府門真市門真１０４８

取説No．LBG76430K－T5
N0204－051008